



ロータリー:  
変化をもたらす

## 例会プログラム

点鐘 会長 川尻達也  
ロータリーソング 『それでこそロータリー』  
ロータリーの目的唱和  
ゲスト並びにビジター紹介  
砺波RC 宮永 陽子様  
長期交換留学生 セイジ・ムーン・ボックさん  
会長挨拶並びに報告  
幹事報告  
委員会報告  
出席報告・ニコニコBOX報告  
ロータリーの友紹介 山本雑誌委員長  
本日のプログラム  
会員卓話 夏野公秀会員

## 出席報告

会員数	32名
本日の出席者	20名
メイクアップ済	1名
本日の出席率	84.00%
4/1修正出席率	88.46%
(メイクアップ 7名)	

## ニコニコBOX

- ◆川尻会長  
宮永さん、射水RCへようこそ。夏野さん 笹川さん、本日卓話よろしくお願ひいたします。
- ◆石井幹事  
本日は宮永様、射水RCへようこそ。ロータリーの友紹介よろしくお願ひします。夏野さん笹川さん卓話よろしくお願ひします。5RCコンペ優勝しました。
- ◆東会員  
夏野さん笹川さん、卓話楽しみにしています。
- ◆片口会員  
結婚記念日祝いを頂きました。
- ◆宮田会員  
結婚記念日祝いを頂きました。
- ◆森林会員  
結婚記念日祝いを頂きました。
- ◆小神会員  
結婚記念日祝いを頂きました。
- ◆上田会員  
4/28私のお寺の本堂で澤武さんのコンサートを開催します。自由におこし下さい。
- ◆山崎会員  
誕生日祝いを頂きました。5RC優勝おめでとうございます。個人3位でした。
- ◆吉田会員  
妻の誕生日祝いを頂きました。

## 第1763回例会 2018年4月17日(火) 場所:うもれぎ亭

### 【会長挨拶並びに報告】



川尻会長

### 【幹事報告】

配布物: ロータリーの友4月号  
ガバナー月信4月号  
次回例会出欠票

回覧物: 3/7、4/1、4/10週報  
ハイライトよねやま  
学友だより

●本日、例会終了後に理事会を開催します。

### 【4月度会員誕生日・4月度結婚記念日】

- 誕生日  
★ 山崎重夫さん(30日)
- 結婚記念日  
★ 宮田邦彦さん(24日)  
★ 小神善行さん(25日)  
★ 森林良治さん(26日)  
★ 片口宗久さん(29日)



ビジター:砺波RC 宮永様



### 【セイジさん挨拶】



交換留学生 セイジ・ボックさん

### 【ロータリーの友紹介】



山本雑誌委員長

## 『会員卓話』 夏野公秀会員



今日は新入会員卓話以来の卓話です。私の入会は平成18年なので、12年ぶりに卓話をさせて頂くことになりました。12年前の新入会員卓話では、ちょうど関連会社のエコ・マインドを稼働させた頃でありましたので、エコ・マインドの事業内容及び設備の紹介をさせて頂きました。今日は改めて自己紹介から始めさせて頂きます。名前は夏野マサヒデです。公に秀吉の秀と書いてマサヒデと呼びますが、殆どの方はキミヒデと呼ばれます。芸能人の世良公則さんのマサはこの字ですし、山崎さんにはいつもマーちゃんと呼んで頂いておりますので、是非マサヒデと覚えて頂きたいと思います。

生年月日は昭和40年6月30日生で、現在52歳です。高校は高岡商業高校、3年間高商に通い、大学は中央学院という大学に進みました。大学時代は自動車同好会に入りました。自動車同好会は主にダートトライアルという競技を行うクラブです。そのクラブに3年間所属し、友達と一緒に大好きだった車をいじったり、ダートラのタイムを競ったり、酒を飲んだり、この3年間はとても楽しい3年間でした。当時の友達とは今だに連絡を取りたまに会ったりもしています。

4年になり親父に就職の相談をしたところ、当時親父は52歳でしたが私はもう52歳、この先、体がどうなるかわからないから帰って来いと言われ素直に帰って来ました。私の大学は文系でしたので2月には卒論を提出し帰って来てましたので、家業であります射水建設興業に毎日出勤していました。その後、2月の終わりか3月の初め頃に暫く射水運輸に行って、その年度の請求もれがないかチェックしてこいと言われ射水運輸に暫く行くことになりました。何故なら当時射水運輸には2人の事務員さんがいましたが、立て続けに産休に入ったり、退職者があつたりということで、請求もれがある可能性があったからです。それで実際に射水運輸に請求のチェックに行きました。請求のチェックだけなら4月から1月までの10ヶ月分といえども10日から2週間もあれば十分だったのですがずっと行くことになりました。

ここで当社の歩みについてお話をします。昭和10年4月に私の祖父が夏野土石を創業、その後、昭和16年10月に小杉貨物自動車(株)を組織し、小杉駅前に進出し営業を開始しました。昭和18年6月に運送業界の統廃合により、高岡地方貨物自動車(株)を設立し、本社を高岡市丸の内において、大門・小杉の両営業所を管理しておりました。昭和27年11月に終戦後の諸事情の影響を受け高岡地方貨物自動車を解散する事となり、運送、土木、建築、土石販売を目的とする射水運輸(株)を設立しました。その後、昭和44年5月に社名を射水運輸建設(株)に変更、昭和57年4月に社名を射水建設興業(株)に変更、同時に運送部門を独立し射水運輸(株)として新たに発足し現在に至っております。

また、請求のチェックに話を戻しますが、10日から2週間も射水運輸に居れば、だんだんと様子が分かってきます。当時の射水運輸は大門に本社があり、富山に営業所がありました。富山営業所は射水運輸建設の頃からありましたので、荷主も今の全農ですから安定した荷主の仕事をしていましたが、本社の方は独立してまだ5年ほどしかたっていないため、車両台数も少なく、運転手を募集してもなかなか来てくれないというあまり良い状況ではありませんでした。その話を親父にしたところ、射水運輸はうちのグループの発祥なのだからお前が行ってしっかりとやれと言われ、4月から正式に入社し3年程はトラックを運転したり、積込をしたりしながら営業にも回っていました。その頃は景気も良く、また運もあって少しずつ良くなっていきました。その後、平成7年に30歳で常務取締役役に就任。そして2年後の平成9年に32歳で代表取締役役に就任しました。現在21年程になりますが、何年たっても仕事で一番怖いのは事故です。事故は、相手や会社に損害を与えるだけでなく、場合によっては運転手やその家族の生活にまで影響を及ぼす可能性があるからです。

現在、当社のトラック保有台数は65台です。この中には予備車もありますので約60台を毎日、県内を中心に関東、関西、中京へと走らせています。毎日60台ものトラックを走らせていますいろいろな事があります。

二つ、事故の話をしようと思います。一つ目は皆さん10年ぐらい前に、走行中にタイヤが外れたという話を覚えていませんか？ 当時はあるメーカーの欠陥を指摘された話だったと思いますが、実際には点検不足が原因でタイヤが外れる事例が意外に多くあります。私が知っているだけでも数社ありますし、当社でも一度外れた事があります。当社の場合は、高山の辺りの山岳地で大型の左側の後輪が外れ、道路下の工場の敷地に転がってしまいました。幸い、人にも車にも当たらず大事には至りませんでした。一歩間違えれば大変な事になっていたと思うとゾッとします。タイヤが外れたという事に関しては業界では珍しい話ではありませんが、ちゃんと点検さえすれば防げる場合が多いので、それ以来再発をさせないために指導しております。

二つ目は意外に任意保険に入っていない人がいます。交通事故で過失が全くないというのは、追突、センターラインオーバー、信号無視の3つぐらいしかありません。なので完全なもらい事故だと思っても2割ぐらいの過失を取られる事がよくあります。これから話すのは少し変わった事例です。当社のトラックが青信号で直進していたところに左から信号無視の乗用車が突っ込んできました。乗用車の運転していた方は居眠りで、ノーブレーキでぶつかっていますので当時は重体でした。加害者がそのような状態だったので、息子さんと話したところ、加害者であるお父さんは保険に入っていないという事でしたが、損害の分はお父さんに請求してほしいという事だったので請求をしました。暫くすると弁護士さんから書類が届き加害者が自己破産するという内容でした。相手方が保険に入っていない場合は払ってもらえないケースがよくありますので、この時も諦めるしかありませんでした。ところが数年後にその加害者が当社に対して調停にかけられました。こちらが被害者なのにアホやなと思いつつながら調停に行きました。結果は逆に調停にかけたみたいになって、当時の損害金全額ではありませんでしたが、数年かけて払ってもらう事になりました。このようにやはり事故というのは起こしても、もらってもいい事はありませんので、当社では数年前からコンサルタントを入れ2ヶ月に1度 安全教育を行い、事故ゼロを目指して日々努力をしております。

次に、私が射水建設興業で貴重な経験をした話をします。私が射水建設興業の代表になったのは5年前です。今から2年か3年程前の事です。その貴重な経験とは次のどれでしょう。1. 5000万円の宝くじが当たった。2. 入札で同札となり5000万円の工事のくじ引きをした。3. 取引先から株を買えと言われ買ったら5倍の5000万円になった。正解は2番です。国交省の工事の入札の時でした、それぞれ会社には過去の工事の評価を表す点数があります。この点数と入札価格で選考する場合と、それに施工計画を加えて選考する場合があります。今回は施工計画を加えて選考する入札で同点となり0社とくじ引きをして落札者を定める事となり、見事に引き当てたという経験です。ちなみに、市の入札では点数と入札価格で選考する方法なので、同札になることはありますが、市の場合はコンピューターが自動で抽選をするので、くじ引きを行う事はありません。

現在は、射水運輸と射水建設興業を行ったり来たりしていますが、建設の方は公共工事が少ないので、皆様方あるいはお知り合いで事務所や工場の新築や改築など計画をしておられる方がいらっしゃれば是非ご紹介をいただければ幸いです。